



2020 令和2年 8



発行 ●粕江市政策室 〒201-8585 粕江市和泉本町1-1-5 ☎3430-1111 FAX3430-6870 Email=wacco@city.komae.lg.jp

編集・制作 ●特定非営利活動法人 k-press 〒201-0003 粕江市和泉本町1-35-3 ル・ミリオン・イイダ3階A号 ☎3430-6617 FAX3430-6743

自然豊かな水と緑のオアシス



粕江古代カップ多摩川いかだレース (今年度は中止)



多摩川

調布市境から世田谷区境にわたって粕江市の南西部を流れる多摩川は、粕江に住む人々に多くの恵みをもたらしてきた。豊かで清らかな水が田畑を潤し、アユをはじめとした多くの魚が暮らしを支えた。その一方で、水害に度々見舞われ、高度成長期には水質の悪化による悪臭にも悩まされた。ただ、現在では水質が改善したため、アユなどの川魚が増え、野鳥が舞い、河川敷に植物や昆虫などの多様な自然が息づく、市内では貴重な市民のオアシスとなっている。

沢、秩父などの山並みが望め、散歩やジョギング、サイクリングなどで訪れる人も多い。粕江古代カップ多摩川いかだレースや初春まつりなど四季折々のイベントが催され、多くの人でにぎわう。

①六郷用水取入口・水神社

元和泉2丁目付近江戸時代初期に灌漑用に造られた六郷用水の取入口。世田谷区を経て大田区まで全長約23kmに及び、徳川家康の命を受けた小泉次大夫の指揮で慶長2(1597)年から14年がかりで造られた。粕江でも農業用水などに利用された。多摩川の水位の低下や都市化による農業用水の需要の減少などによって、市内では昭和40年頃から順次埋め立てられ、上部は道路になった。六郷さくら通り沿いにある



水神社

●新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、利用制限を行っている施設、中止しているイベント等があります ●健康維持のため散歩等を行う場合も、咳エチケットや手洗い徹底、密集を避けるなど、感染拡大防止に協力をお願いします ●施設などに立ち入る場合は必ず許可を得てください。

る水神社には、小泉次大夫と水神がまつられている。水神前交差点近くに「六郷用水取り入れ口の碑」が立っている。

②玉翠園跡

中和泉4-15 明治39(1906)年に地元出身の井上半三郎が建設、「井上公園」と名付けた。多摩川と富士、丹沢を望む景勝地として人気を集め、大正2(1913)年には川魚料理や船遊びが楽しめる料亭「玉翠亭」が開業、公園も「玉翠園」の名で呼ばれた。10年には小学生のための林間学校も開設された。しかし、戦争などの影響で昭和18年に廃業した。現在は玉石を積んだ石垣の一部が残っている。



玉翠園の石垣

③モニュメントTO THE SKY'90

元和泉2-38-1 西河原公園西北端に立つ常松大純さん制作のモニュメントは、市制施行20周年記念事業のひとつとして平成2年に立てられた。「TO THE SKY'90」と題され、大地から一粒の種子が地表の岩石を押し、空に向かって成長するさまを表し、粕江市の将来の姿を象徴している。



モニュメント

④西河原公園

元和泉2-38-1 多摩川に面した面積約16,000㎡の市内最大の公園で、元は水田だったが、市が買収し昭和50年にオープンした。園内にはさまざまな種類の樹木が数多く植えられ、花壇や噴水、池、芝生広場などが配置されており、市民の憩いの場として年間を通じて多くの人を訪れる。堤防沿いのソメイヨシノの並木は、満開時にはピンクの壁のようになり、市内指折りの花見の名所として親しまれている。



西河原公園の桜並木

り、高齢者向けの「うんどう教室」が開かれている。

⑤粕江プレーパーク

元和泉2-38-1 子どもが自然と触れ合いながら自由に外遊びができる場所として、市とNPO法人「こどもの遊びと育ちをささえる会・粕江」の協働で平成28年に西河原公園内にオープンした。約1,621㎡の敷地には高さ1mほどの土の山があり、子どもたちはウォータースライダーやロープブランコ、ターザンロープなどさまざまな遊び道具や大工道具などを使って自由に遊べる。管理棟には倉庫やトイレ、授乳スペース、ベビーベッドなどがあり、プレーワーカーが常駐して子どもを見守る。開園は原則週4日で利用無料。

問い合わせ ☎050-3707-2435 (開園中のみ) 粕江プレーパーク。



粕江プレーパーク

⑥五本松

元和泉3丁目付近 多摩川の岸辺にあり、粕江を代表する景観として親しまれ、「新東京百景」や「多摩川150景」にも選ばれている。

松の数は十数本あるが、いつの頃からか「五本松」と呼ばれるようになった。「多摩川河川敷五本松樹林地」として粕江市が松の管理などを行っている。

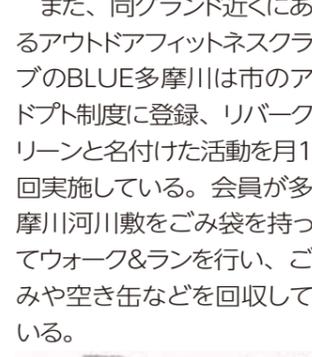
近くに映画の撮影所があった関係で、以前から映画やテレビドラマなどのロケによく使われ、いまでも警察系のドラマや映画に登場することが多い。



五本松

⑦多摩川緑地公園グランド

猪方4-1 多摩川河川敷を利用して野球グランド2面、バックネットなどが設けられ、軟式野球やソフトボールなどに使われるほか、下流の河川敷も使って初春まつり、水防訓練をはじめさまざまなイベントにも利用されている。ただ、昨年の令和元年東日本台風で被害を受け、現在は利用を休止している。



被災前の多摩川緑地公園グランド

⑧多摩川決壊の碑

猪方4丁目付近 昭和49年の「多摩川水害」を後世に伝え、水害の恐ろしさと治水の重要性を訴えるために平成11年に多

摩川自由ひろばの一面に立てられた。

多摩川水害は、台風16号により堤防が決壊、猪方地区の家屋19棟が流失した。

三角錐の各面には、碑銘、碑文、決壊時の写真のパネルがはめ込まれている。増水時には撤去できるようにになっている。



多摩川決壊の碑

⑨粕江水辺の楽校

駒井町3丁目付近 多摩川の自然を体験できる青空教室で、平成13年に開校した。市民が組織した粕江水辺の楽校運営協議会と粕江市、国土交通省が協力して運営している。河川敷の木立に散策路や水路などがあり、植物や昆虫、鳥、魚などの生態を身近に観察できる。

昨年の令和元年東日本台風で大きな被害を受けたが、小学生から高齢者まで幅広い市民が協力して日曜日午前中に清掃や水路の復元活動を行っており、開校20年を迎える来年までに元の水辺を再生したいと運営協議会では話している。

問い合わせ ☎090-3525-8506 竹本さん。



水辺の楽校で清掃作業をする市民たち